

内藤建設と大垣西濃信金 3小中高に物品寄贈



3校の校長に目録を手渡した内藤宙社長(右から3人目)＝大垣市中川町、大垣北高校

内藤建設(岐阜市六条南)と大垣西濃信用金庫は25日、大垣北高校(大垣市中川町)にウォークークーラ12台(計40万円相当)、北中学校(同市八島町)に折り畳み椅子30脚(計30万円相当)、北小学校(同)にテント2張り(計30万円相当)を寄贈した。3校とも内藤宙社長の母校で、感謝の気持ちを込

めるとともに、人材育成の一助になればと寄贈を決めた。発行手数料の一部を寄付に充てる同金庫のSDGs型地域貢献献私募債「あしたへ」を活用した。

3校合同の贈呈式が同高であり、同金庫の日根野弘文岐阜支店長らと来校した内藤社長が「なくてはならない衣食住のうち、住の部分を支える人材の育成が会社の目的。人を育てる大元は小中高校にある。地域貢献の仕組みを活用して恩返しができるのはありがたい」と思いを語った。

目録を受けた同高の酒井猛校長は「子どもらの安全安心、命が大事。素晴らしい物を頂いた」、生徒会長の3年徳丸鳳駕さん(18)は「暑い夏も文武両道に励みながら乗り越えられそう」とお礼を述べた。同中の吉田秀慈校長、同小の遠藤由康校長も感謝を伝えた。

(小森直人)